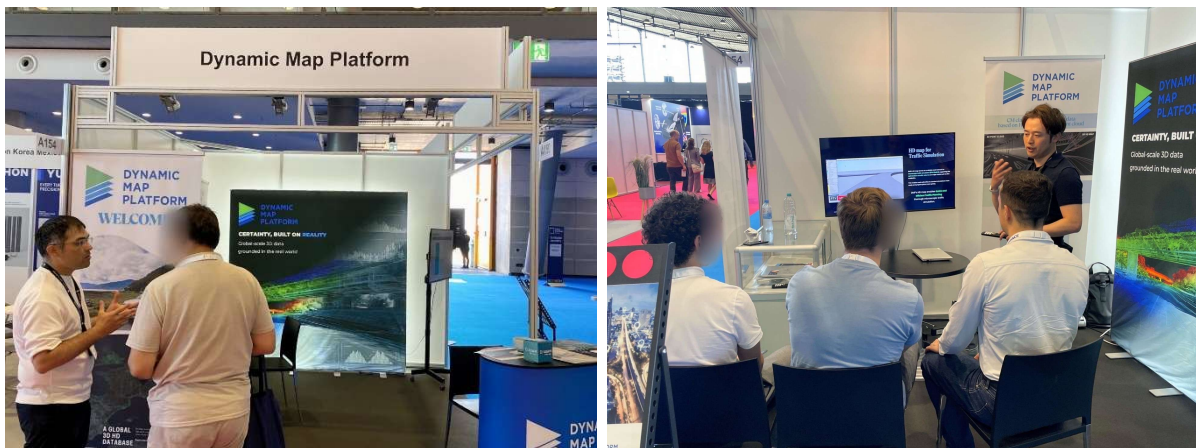


自動運転・ADASの国際展示会「AVTE 2026」で AIネイティブデータや交通シミュレーション向けデータ活用を紹介

ダイナミックマッププラットフォーム株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 CEO: 吉村 修一、以下「当社」)は、2026年6月23日(火)~25日(木)にドイツ・シュトゥットガルトで開催された自動運転・先進運転支援システム(ADAS)技術の国際展示会「Autonomous Vehicle Technology Expo 2026(AVTE 2026)」に出展しましたので、お知らせします。



「Autonomous Vehicle Technology Expo 2026」会場内の当社ブースの様子

「Autonomous Vehicle Technology Expo」は、自動運転・ADAS技術に特化した国際展示会であり、自動車メーカー(OEM)、Tier 1 サプライヤー、ソフトウェア企業、研究機関などが参加する業界イベントです。2026年は「Vehicle Tech Week Europe」の一環として開催され、自動運転、シミュレーション、AI、ソフトウェア定義車両(SDV)などに関する最新技術や取り組みが紹介されました。

■当社ブースにてAIネイティブデータと交通シミュレーションを紹介

当社ブースでは、AI学習・評価向けのAIネイティブデータおよび高精度3次元地図データを活用した交通シミュレーションモデル構築を紹介しました。ドイツやフランスをはじめとする欧州各国の自動車メーカー(OEM)やTier 1 サプライヤー、米国やイスラエルなど欧州外も含むソフトウェア企業やシミュレーション関連企業、ドイツやスペインなど欧州の試験・認証機関、研究機関、空港関係者など、多様なステークホルダーが当社ブースを訪れ、商談や意見交換を実施しました。

AIネイティブデータについては、当社がHugging Face上で公開している複雑かつ事故リスクの高い交差点データを例に、点群データ、カメラ画像、高精度位置情報、高精度3次元地図データ、3D Gaussian Splatting(3DGS)データを統合したマルチモーダルデータの構成や活用方法について説明しました。

また、高精度 3 次元地図データを活用した交通シミュレーションについては、現実世界をセンチメートル級精度で計測・整備したデータを活用することで、複雑な道路環境を反映したシミュレーションモデルを効率的に構築できる点を紹介しました。

展示内容に対して来場者からは、「3DGS への取り組みを検討していたところであり、大変興味深い」「法規対応や安全性評価への対応という観点からも、現実世界の道路環境を反映したシミュレーションの重要性は今後さらに高まると思う」といった声が寄せられ、開発効率向上や検証環境構築への活用可能性について活発な議論が行われました。

■高精度 3 次元データによる ADAS・E2E 自動運転の高度化をテーマに講演を実施

会期初日の 6 月 23 日には、「AVT Live Zone」において講演を実施しました。講演では、「High-fidelity 3D data accelerating ADAS and E2E autonomous driving」をテーマに、ブース展示でも紹介した交通シミュレーションや AI ネイティブデータを含む当社の取り組みについて説明しました。

当日は約 40 名が聴講し、自動車メーカー(OEM)や Tier1 サプライヤー、シミュレーション関連企業など、幅広い分野の来場者に参加いただきました。講演後には、「AI 開発では、データの量だけでなく質や多様性も重要であることを改めて認識した」「AI による開発が進む中で、こうした AI ネイティブデータの価値は今後さらに高まると感じた」といった反応が寄せられ、講演終了後も多くの来場者との意見交換が行われました。



「AVT Live Zone」での講演の様子

当社は今後も、高精度 3 次元データの整備・活用を通じて自動運転・ADAS の高度化に貢献するとともに、AI 開発やフィジカル AI 分野を含む新たな活用領域の拡大に取り組んでまいります。

< 「Autonomous Vehicle Technology Expo 2026」 概要 >

開催日時	2026 年 6 月 23 日(火)～25 日(木)
会場	Messe Stuttgart (ドイツ・シュトゥットガルト)
主催	UKi Media & Events
公式サイト	https://autonomousvehicletechnologyexpo.com/

<ダイナミックマッププラットフォーム株式会社について>

当社は日本政府によるバックアップのもと、国内自動車メーカー10社等の出資により設立されました。日本をヘッドクォーターに、北米・欧州・中東・韓国に拠点を構え、現在26ヶ国で事業を展開。自動運転や先進運転支援システム(ADAS)をはじめ、シミュレータ環境構築、インフラ管理、除雪支援など、幅広い用途に向けて高精度3次元データを提供しています。

「Modeling the Earth」=地球のデジタル化をビジョンに、高精度3次元データのプラットフォームとして、様々な産業分野におけるイノベーションを共創します。

設立:2016年6月

本社:東京都渋谷区

代表者:吉村 修一

事業内容:自動運転・ADASをはじめ多様な産業を対象とした高精度3次元データの提供

公式サイト: <https://www.dynamic-maps.co.jp/>

公式 X: https://x.com/dynamic_maps